

ESDと総合的な学習の時間

2017.4. 27
奈良教育大学附属小学校
河野 晋也

総合的な学習の時間って？

(2016. 12.06 答申案)

現行学習指導要領では、総合的な学習の時間を、教科等の枠を超えた**横断的・総合的**な学習とすることと同時に、**探究的な学習**や**協同的な学習**とすることが重要であることを明示した。特に、探究的な学習を実現するため、「**①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現**」の探究のプロセスを明示し、学習活動を**発展的に繰り返していくこと**を重視した。

総合的な学習の時間って？

(新しい指導要領に書かれた目標)

探究的な見方・考え方を働かせ、**横断的・総合的な学習**を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の**生き方**を考えていくための**資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

総合的な学習の時間って？

(新しい指導要領に書かれた目標)

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる**概念**を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
…**知識・技能**

(2) **実社会や実生活の中から**問いを見だし、**自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することが**できるようにする。
…**思考・判断・表現**

(3) 探究的な学習に**主体的・協働的**に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、**積極的に社会に参画**しようとする態度を養う。
…**主体的に学ぶ態度**

総合的な学習の時間って？

キーワードは

◆ 探究的な見方・考え方（答申）

…各教科等における『見方・考え方』を総合的に働かせて、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けて問い続けること

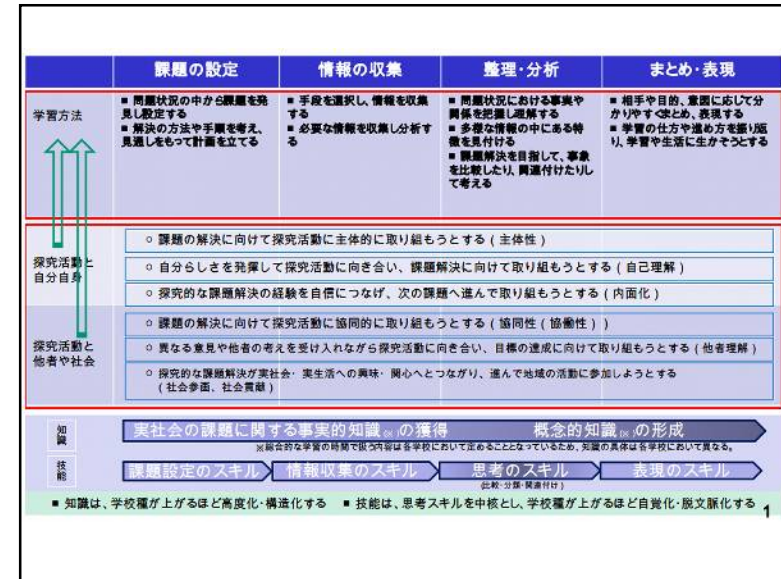
⇒各教科の見方考え方を総合的に働かすことでより確かなものに、より生きて働くものに。

◆ 実社会や実生活の中から問いを見出し

◆ 課題の設定・情報収集・整理分析・まとめ表現

⇒社会に参画（行動化）

◆ 主体的・協働的に取り組む



総合的な学習の時間って？

新学習指導要領より

探究課題については、学校の実態に応じて、例えば、**国際理解、情報、環境、福祉・健康**などの**現代的な諸課題に対応する**横断的・総合的な課題、**地域の人々の暮らし、伝統と文化**など**地域や学校の特色に応じた課題**、児童の**興味・関心に基づく課題**などを踏まえて設定すること。

総合的な学習の時間とESD？

（持続可能な社会という視点）

- ESDは、次期学習指導要領改訂の全体において基盤となる理念であると言える。
- ESDの資質・能力（「多様性」「相互性」「有限性」「公平性」「連携性」「責任性」…概念理解、「批判的思考力」「未来像を予測して計画を立てる力」「多面的・総合的に考える力」などの力）は、総合的な学習の時間で探究的に学習する中で、より確かな力としていくことになると考えられる。
- 学習課題がどうこう…よりも、資質・能力を育むことを意識した学習を展開することが重要。ESDにおいては**総合的な学習の時間が中心的な役割を果たしていくことが期待される。**

実際の授業の中で大切にしたいことを考えてみよう

対話を生み出す。

学び合う雰囲気をもった学習集団

学びごたえのある問題

絶対的な答えがない課題をぶつけてみる。(ゆさぶり)

学び合う雰囲気をもった学習集団

「環境を変化させた」という体験が、児童の効力感(環境を変えることができるという自信)を強める。

社会へ働きかける意欲

⇒社会に対する働きかけを目標とするESDにとって、とても重要な考え方

学び合う雰囲気をもった学習集団

…対話の意味をもう一度おさらいしてみる

児童A → 知識の伝達 → 児童B

自分の学習に対する自信とBの変化させたという自信

児童A・Bの視点両方を持つ、より多角的な見方

社会に関わる意欲がのびる社会を見る目が育つ

学びごたえのある問題

教材としての社会

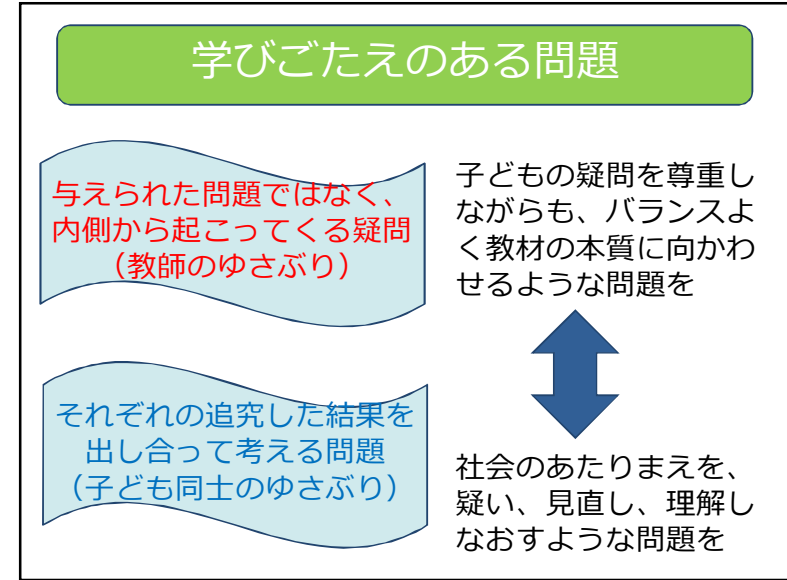
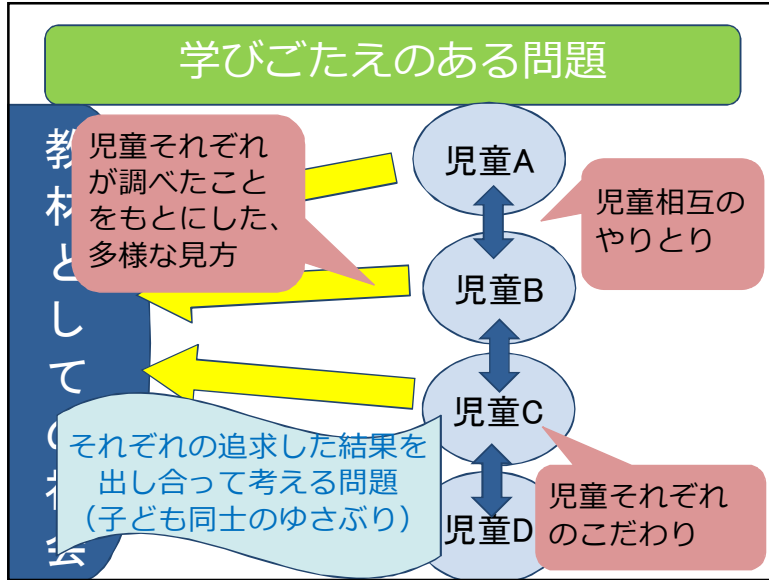
児童

てのフィルターの役割

より強い関心と探求心

・切実感や驚き
…既存の概念を覆す

与えられた問題ではなく、内側から起こってくる疑問(教師のゆさぶり)



とりあえず、なんかつくってみ～練習②
テーマ《コーヒー》

コーヒーという文化をじっくり見てみると、なにかおもしろいものがあるかもしれない。

さらに、人のすばらしさ・大切にされている思い・今の社会の課題・持続させたい何か…
が見つかるかもしれない。

コーヒー

×

?
(何か)

エチケット 歴史 国際関係 宗教
漢字 インスタント…

珈琲という漢字はなぜ

- 幕末の蘭学者、
- 宇田川榕菴
- 「珈」は髪に挿す花かんざし「琲」はかんざしの玉をつなぐ紐

5年生 正倉院を使って こんな授業してました

- | | | |
|--------------------|---|------------|
| ①教材との出会い | } | 課題の設定 |
| ②問題の気づき | | |
| ③自分なりの調べ学習 | } | 情報の
収集 |
| ④人に出会う。 | | |
| ⑤互いの考えを交流する | } | 整理
・分析 |
| ⑥新しい問題に出会う | | |
| ⑦再度の交流
⇒いかす(行動) | } | まとめ
・表現 |

授業見るときのポイント①

(主体的な学び) 答申より

- ①課題設定
- ・自分事として課題設定
 - ・実社会や実生活の問題を取り上げる、
 - ・学習活動の見通しを明らかに
- ②振り返り
- ・自らの学びを意味付けて自己変容を自覚させる。
 - ・言語でまとめたり表現したりする学習活動。
 - ・学習の途中で、見通したことを確かめ、必要に応じて見通しを立て直すこともOK。

授業見るときのポイント②

(対話的な学びの視点) 答申より

- ④ 協同的な学習の良さ…
- ㊦他者へ説明する = 生きて働く知識や技能の習得
 - ㊧他者から多様な情報が収集できる
 - ㊨新たな知を創造する場を構築できる
- ②目的は… グループで結果を出すことではない
- ③だれとの対話? …児童相互だけではなく、自己内対話、文献との対話、ICTで遠距離での対話も。

授業見るときのポイント③

(深い学びの視点)

- ④ 探究のプロセス・学習過程の質的向上
- ・学習課題について探究的に学ぶ中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を総合的に働かせる
- ⇒個別の知識や技能は関連付けられて概念化
- ⇒能力は実際の活用場面と結びついて汎用的になり、多様な文脈で使えるものとなる。
- ②特に…「㊦課題の設定」の場面で課題を自分事として捉えること、「㊨整理・分析」の場面で俯瞰して捉え内省的に考えるという「探究的な見方・考え方」を働かせることが重要。